令和元年（2019年） 7月23日（火曜日） High school news AKUTAGAWA 芥川高校 令和元年度 6号[№271]
発行 大阪府立芥川高等学校 〒569-1027 高槻市浦堂1丁目12-1 TEL 072-689-0109 http//www.osaka-c.ed.jp/akutagawa 平成17年10月20日創刊

学校新聞 芥川

部活動 新入生加入率82％

特別活動指導部

今年度も各クラブは多くの新入部員を迎えました。6月末現在、1年生では運動系部活動に171名、文化系部活動に127名の計298名が加入しており、1年生の82％にあたる人数となっています。昨年に引き続き高い入部率で、部活動がますます活性化していることを示しています。学校全体でも826名（77％）の生徒が部活動に参加し、意欲あふれる高校生活を送っています。

	クラブ名	合宿の日程					活動場所	人数
1	陸上競技	7/28	日	～	7/30	火	希望が丘文化公園陸上競技場	10
2	サッカー	7/13	土	～	7/15	月	鳥取県ﾌｯﾄﾎﾞｰﾙｾﾝﾀｰ大山	58
3	ﾊﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ	7/23	火	～	7/25	木	但馬ドーム	19
4	女子ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ	7/30	火	～	8/2	金	名色総合グランド	8
5	女子ﾃﾆｽ	7/30	火	～	7/31	水	希望が丘文化公園	17
6	男子ﾊﾞｽｹｯﾄ	7/24	水	～	7/27	土	マキノ高原体育館	29
7	女子ﾊﾞｽｹｯﾄ	7/24	水	～	7/27	土	マキノ高原体育館	34
8	剣道	7/29	月	～	8/1	木	鹿野町農業者ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	4
9	卓球	7/29	月	～	7/31	水	兵庫県立総合体育館	13
10	和太鼓	7/28	日	～	8/4	日	武雄市文化会館	76
11	美術	11/16	土	～	11/17	日	坂越港周辺	7

ファーストコンサート ～平成最後の挑戦～ を実施

吹奏楽部顧問

4月30日（火）18時より、クロスパル高槻イベントホールにて、吹奏楽部のファーストコンサートを行いました。ちょうど再結成10年めの今年、初めての外部での単独コンサートということで、部員一同はりきって準備を進めてきました。

第1部では、入部したばかりの1年生も2曲演奏し、また『YMCA』のダンスでも盛り上げました。第2部はOB・OGも加わって、より迫力の増した演奏となったと思います。

たくさんのお客様に見守られながら、3年生は今回でひとまず引退となりました。サプライズもあり、会場は温かな空気に包まれていました。部員たちにとって、とてもいい経験になったのではないかと思っています。

ラーマがくれた贈り物 ～和太鼓部「シリア難民支援チャリティーコンサート」～

和太鼓部名誉顧問

6月15日（土）、高槻ロータリークラブ65周年記念事業として和太鼓部は高槻現代劇場大ホールで、1時間の「シリア難民支援チャリティーコンサート」を行いました。そして、その演奏中に起きたある出来事は和太鼓部にとって忘れかけていた大切なことを再び思い出させてくれることになりました。

この日、ホールには600人～700人の観衆が集まり、和太鼓部は、日本で初めて「シリア難民」の認定を受けた、埼玉に住む3年生の女子生徒を招いて、コラボ演奏を披露したのでした。このために　は事前に二回、大阪に来て、部員宅でホームステイし、コラボ曲の練習をして部員たちとどんどん仲良くなっていきました。

このコンサートの後半に入って、いよいよコラボ演奏になると、その5分間だけは客席が他の曲とは全く違った様相に変わっていきました。

ほとんどの大人たちが涙を拭いながら、ステージの演奏に惹きつけられていくのです。観客の視線の先には、　の演奏を周りで囲み、大きな声をかけて、暖かく励ましながら演奏する和太鼓部員たちの笑顔がありました。それに背中を押されて　は途中から楽しくなって踊りだし、手をしっかり伸ばし、大きな動作と満面の笑顔で生き生きと太鼓の演奏をしました。それはステージ上の誰もが一つになって心を通わせ、お互いに反応し、信頼し合い、励まし合っている光景でした。演奏が終わると部員たちは　に駆け寄り、取り囲んで笑顔で拍手をしたのです。その時に、人びとの涙腺は全開になりました。

このような観客の反応を見たのは久々でした。以前は演奏会で観客や、そして顧問でさえ、感動を抑えることができず、涙することは確かにあったのです。今は演奏の技術は前より向上し、難しい曲も演奏できるようになった。中にはプロをめざす部員も出てきた。しかし、それと逆行して、いつしか「高校生たちがお互いに励まし合い、支え合う」という和太鼓部の原点を忘れ、演奏技術の競争やプロ奏者の真似をして目立ちたいという意識の方が強くなって一体感が薄れてきたのではないか。　とのコラボはそうした和太鼓部の原点を思い出させ、大切なことに気づかせてくれたのでした。

和太鼓部は2008年に部員たちの「好きな和太鼓を生かして社会貢献ができないか」という提案によって、NGOと協力して開発途上国に井戸を贈る活動を始めたのがきっかけで、途上国支援や被災地支援、難民支援活動に引き継がれ、他の3部にも呼びかけて「4部合同チャリティー」にも発展しました。和太鼓部はその伝統を受け継いで、今年はシリア難民支援と合わせて、来月、全国大会の帰路に、1年前の西日本豪雨被災地の岡山県に寄り、矢掛高校生と協働して被災した方々と交流するイベントを計画中です。そうした活動を通じて部員たちは、国内外のさまざまな人びとと出会い、共に行動することで視野を広げ、自分の可能性に気づいていきます。

今回の出会いは　に、「私にとって一生忘れないような経験。すごくすごく本当に言葉にあらわせないぐらい、とても心が暖かくなり、楽しかった。帰りの新幹線でずっと寂しくて泣いてました。」と言わせ、多感な部員たちも心の中から決して消えることなく、貴重な財産となって彼らの生き方に多大な影響を与えることと思います。

生徒会 あしなが学生募金に参加

生徒会顧問

5月11日（土）・12日（日）の2日間、生徒会は、JR高槻駅での『あしなが学生募金』に参加しました。参加者は、生徒会役員・生徒会スタッフで、1年4名、2年3名、3年4名の計11名でした。卒業生の学生の方も一緒に参加してくれました。次回は、10月に行われますので、関心のある生徒は、生徒会室まで来てください。ボランティア活動のひとつとして、新しい経験ができると思います。

（初参加の2年生の声）

「初めて参加して、様々な理由で奨学金を必要とする方々の存在や、人の温かさを知るいい経験になりました。少しでも助けになれるように、次回も参加したいと思います。」

プールでヤゴ救出！ 57匹が生物実験室で羽化！

生物部顧問

今年も、5月8日（水）水泳部の協力で、プール清掃前の約1時間、ヤゴ救出活動を行いました。今年は、五百匹近いタイリクアカネ（アカトンボ）のヤゴを救出。他にも、アメンボ、マツモムシ、カゲロウの幼虫などの水生昆虫も確認しました。救出したヤゴは、近くの芥川の西側のとんぼ池やビオトープに放流しましたが、今年は生物実験室で羽化に挑戦。救出18日目の5月26日から毎日羽化し、合計57匹が羽化して初夏の空高く舞い上がっていきました。

中高交流会を開催

総務部

6月25日（火）、26日（水）本校図書室において、高槻市内の17中学校、茨木市内の1中学校から計25名の先生方と、本校1学年担任団が一堂に会して、各中学校と本校の教育活動の取り組みについて話し合うなどの交流を行いました。